

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	農業と環境	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	1年
教科書	農業と環境（実教出版）	副教材	なし

学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付ける。
------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技術	農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 学校農業クラブ活動について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・研究発表 等
主体的に学習に取り組む態度	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・毎時間の取組状況 ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 農業と環境を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・作物や家畜に興味関心を持つ。 ・作物や家畜の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解させ、取り組む意欲と態度を身に付ける。
	1 農業学習とは何か	
	2 農業と環境の学び方	
2 学 期	3 学校農業クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できる。 ・私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。
	第3章 栽培と飼育の基礎	
	1 作物の特性と栽培のしくみ	
3 学 期	2 作物をとりまく環境とその管理	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。
	第2章 私たちの暮らしと農業・農村	
	1 人間と植物・動物のかかわり	
	2 農業と食料供給	
	3 農業・農村の役割	
	4 これからの社会と農業・農村	

その他	座学と実験・実習を行う。実技的科目である。
-----	-----------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	農業と情報	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	1年
教科書	農業と情報（実教出版）	副教材	なし

学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技術	学校での学習や実習、産業現場での実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・毎時間の取組状況 ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 私たちの生活と農業の情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けるとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するかなどを理解する。
	第2章 社会を支えるコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのしくみ、コンピュータで取り扱う情報の種類と表現、情報通信ネットワークとインターネットのしくみ、情報のセキュリティ管理などを理解する。
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気付きを引き出す思考技術を理解する。
2 学 期	第4章 スマート農業への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業やリモートセンシング、AIなどの計測・制御・通信のしくみ、データベースによる情報蓄積や管理の概念、モデル化やシミュレーションの方法や考え方などを理解する。
	第5章 農業情報の分析と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業情報や環境情報と関連付けた農業技術、経営に関する情報、地理空間情報、環境情報などの収集・蓄積と更新・処理等が、環境保全・農林業に及ぼす意義や役割について理解する。
3 学 期	第6章 農業学習と情報活用	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培や飼育のプロジェクト学習に取り組み、その過程で得られたデータを正しく処理し、文章化したり、グラフ化したり、分かりやすくまとめて発表するとともに、その成果を情報発信するための一連の技術を身に付ける。

その他	
-----	--

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	総合実習	単位数	3単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	1年
教科書	なし	副教材	なし

学習 目標	<p>農業全般に関する体験的な学習で、農業の興味・関心を深める。 栽培に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得、農産物の特性と加工原理について理解し、生産から加工・販売までの過程を実践に必要な態度と能力を身に付ける。 食・農の学習を深め、食・農分野で活躍できる産業人の育成と、自然に親しみ、勤労を尊び、地域を愛する心情を身に付ける。</p>
----------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技術	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 学校農業クラブ活動について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・実習への取組状況 ・課題提出 等
思考・判断・表現	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・研究発表 等
主体的に学習に取り組む態度	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインについて基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	<p>1 オリエンテーション 「総合実習」学習の意義や内容、学習や評価の方法を理解する。 農業クラブ活動内容を理解する。</p> <p>2 実習部門 野菜（トマト、ダイコン） (1) 播種 (2) 定植 (3) 除草 (4) 追肥 (5) 収穫</p> <p>草花（カーネーション、シクラメン）の栽培 (1) 播種 (2) 施肥・消毒 (3) 出荷</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の栽培や食品の製造に興味・関心を持たせる。 ・作物の特性や管理の実習に対して、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解し、取り組む意欲と態度を身に付ける。
2 学期	<p>フラワーデザイン アレンジメント作成 (1) 施肥 (2) 受粉 (3) 除草 (4) 収穫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・作物栽培の生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようになる。
3 学期		

その他	<p>座学と実験・実習を行う。実技的科目である。実習内容は毎時間記録し、評価を受ける。その際、服装・意欲・作業効率・記録方法等について自己評価も実施する。</p>
-----	---

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	草花	単位数	3単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	草花（実教出版）	副教材	なし

学習 目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花生産と経営に必要な資質・能力を育成する。
----------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技術	草花生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 草花生産や経営に関する課題を設定し、プロジェクト学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	草花生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・単元テスト ・研究発表 等
主体的に学習に取り組む態度	草花生産と経営について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・毎時間の取組状況 ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1 草花生産と消費の動向 2 生活と草花の利用 3 春苗の栽培 (1) 播種、鉢上げ、ポット定植 (2) 栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・草花生産と経営の特徴を学ぶ。 ・草花の種類や生産形態の特徴を学ぶ。 ・草花の利用方法について学ぶ。 ・春苗の生産に必要な資質・能力を身に付ける。 ・春苗の利用方法を理解し、栽培や流通、生産や消費の動向について学ぶ。
2 学 期	4 草花の特徴と栽培技術 (1) 草花の生育と環境 (2) 草花の生育と栽培技術 5 秋苗の栽培 (1) 播種、鉢上げ、ポット定植 (2) 栽培管理 (3) 鉢もの、宿根草	<ul style="list-style-type: none"> ・草花の生育における環境条件と栽培技術を、秋苗の生産を通して学ぶ。 ・秋苗の生産と経営に必要な資質・能力を身に付ける。 秋苗の利用方法を理解し、栽培や流通、生産や消費の動向について学ぶ。 ・秋苗の生産と経営について、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。
3 学 期	6 鉢もの生産 (1) 鉢もの生産の特色 (2) 生産資材と商品化技術	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢もの生産技術や生産工程、経費や流通・販売方法などの生産や経営に関する課題に取り組む力を身に付ける。

その他	座学と実験・実習を行う。実技的科目である。
-----	-----------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	総合実習	単位数	1 単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	3 年
教科書	なし	副教材	なし

学習 目標	<p>栽培に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得、農産物の特性と加工原理について理解し、生産から加工・販売までの過程を実践に必要な態度と能力を身に付ける。</p> <p>各農作物の特性や栽培に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付ける。</p> <p>作物・野菜・果樹・食品製造の専攻学習で専門的な実習を行う。</p>
----------	---

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	各部門において総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への取組状況 ・課題提出 等
思考・判断・表現	農業の総合的な技術を習熟し、農業各分野の専門的な内容について、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・実習への取組状況 ・課題提出 等
技能	各部門において、自らの職業生活について考えながら、農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・実習への取組状況 等
知識・理解	農業の総合的な技術を習熟し、農業各分野の専門的な内容について、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	<p>【野菜】例 西洋野菜の栽培</p> <p>(1) 播種及び定植</p> <p>(2) 栽培管理（除草・追肥など）</p> <p>(3) 収穫</p> <p>【草花】</p> <p>例 シクラメン、カーネーションの栽培</p> <p>(1) 播種</p> <p>(2) 施肥・消毒</p> <p>(3) 収穫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を身近に感じる実習を中心に、体験的な活動を通して農業について広く理解する。 ・基礎・基本を重視し、繰り返し巻き返し反復学習を通して、基礎的な技術を身に付ける。 ・種まきから、栽培・収穫・試食を一貫して経験し、技術習得する。
2 学 期	<p>【フラワーデザイン】</p> <p>例 アレンジメント作成、スターチス栽培</p> <p>(1) プートニア</p> <p>(2) 花束</p> <p>(3) アレンジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメントの基本的な知識・技術を習得する。
3 学 期	<p>(4) 切り花栽培</p>	

その他	実験・実習が中心の実技的な科目である。
-----	---------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	農業情報活用	単位数	2 単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	3 年
教科書	農業情報活用	副教材	なし

学習 目標	<p>情報技術の役割や影響を理解させる。 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させる。 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。</p>
----------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	情報技術に興味・関心を持ち、ICTの現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への取組状況 ・毎時間の取組状況 ・課題提出 等
思考・判断・表現	情報技術の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート ・課題提出 等
技能	情報技術の活用に関する基礎的な技術を身に付け、それらを活用した交流活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・実習技能 ・課題提出 等
知識・理解	情報技術の活用に関する基礎的な知識を身に付け、ICTの効果的な手法や基本的なルールの重要性を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	<p>1 私たちの生活と情報 (1) 身の回りの情報機器 (2) IoTで変わる私たちの暮らし (3) サブスクリプション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの情報機器がインターネットに繋がり、IoT化していくことを理解する。 ・色の基礎知識を理解する。 ・色の持つイメージを学習し、成果物を作成する際に効果的な色を選択できるようにする。 ・色が視覚に訴える効果を理解する。 ・情報機器に記述されているプログラミング言語について学習し、簡単なプログラムを書けるようにする。 ・HTML、CSSで記述してHP制作が行える技術を習得する。 ・データベースについて理解する。 ・FileMakerについて理解する。 ・リレーションシップグラフを作成できる技術を習得する。 ・スクリプトについて理解する。
2 学 期	<p>2 農業ICT 精密農業 (1) 農業情報とは (2) 農業根のICT導入で変化する事 (3) ドローンの農業分野への利用</p>	
3 学 期	<p>3 プログラミング言語 (1) Web言語HTML、CSS (2) j Query (3) Sass</p>	
3 学 期	<p>4 FileMaker (1) FileMakerで作れるソリューション (2) レイアウトの編集 (3) リレーションの組み方 (4) スクリプトについて</p>	

その他	座学と実習を行う実技的な科目である。
-----	--------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	デザイン基礎	単位数	3単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	3年
教科書	デザイン入門教室（SBクリエイティブ）	副教材	なし

学習目標	デザインとは何かを学び、「ファッション造形基礎」「フードデザイン」「草花」を主としたデザイン性の求められる科目の質を高めるとともに、効果的な広告を発信できる力を身に付ける。
------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	身の回りのデザインや広告等のメディアに興味・関心を持ち、デザインの現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への取組状況 ・毎時間の取組状況 ・課題提出 等
思考・判断・表現	デザイン技術の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート ・課題提出 等
技能	デザイン技術の活用に関する基礎的な技術を身に付け、それらを活用した交流活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・実習技能 ・課題提出 等
知識・理解	デザイン技術の活用に関する基礎的な知識を身に付け、デザインの効果的な手法や基本的なルール的重要性を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1 デザインをはじめる前に (1) デザインにはルールがある (2) デザイン制作の流れを体験しよう (3) 情報整理の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインのルールを知り、基本に忠実にデザインすることがセンスよりも大切であることを理解する。 ・デザイン制作の一連の流れを理解する。 ・情報の整理方法を理解する。
2 学 期	2 配色の基本 (1) 色の基礎知識 (2) 色が持つイメージ (3) 色の作用と視認性 3 レイアウトの基本ルール (1) 揃える (2) 反復・繰り返し (3) 比較 (4) グループ化	<ul style="list-style-type: none"> ・色の基礎知識を理解する。 ・色の持つイメージを学習し、成果物を作成する際に効果的な色を選択できるようにする。 ・色が視覚に訴える効果を理解する。 ・デザインの4原則について理解し、効果的に活用してデザイン制作する。
3 学 期	4 文字と書体 (1) 文字と書体の基本 (2) 書体の種類 (3) 書体の個性を把握しておく (4) 見栄えの良いタイトルの作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・文字と書体の基本について理解する。 ・書体の種類について理解する。 ・書体の種類の使い分けを学習し、効果的に書体を選ぶ。 ・情報の受け手を引き付けるタイトル作りについて理解する。

その他	座学と実験・実習を行う実技的な科目である。
-----	-----------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	生物活用	単位数	2 単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	3 年
教科書	生物活用（実教出版）	副教材	なし

学習 目標	園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得し、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解するとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	園芸作物や社会動物の育成及びこれらの活用について興味・関心を持ち、生物を活用する活動の現状や今日的な課題の改善と生活の質の向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ファイル ・課題提出 等
思考・判断・表現	園芸作物や社会動物の育成及びこれらの活用に関する諸課題の解決と生物を活用することによる生活の質の向上を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に、諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・実習への取組状況 ・課題提出 等
技能	園芸作物や社会動物の育成及びこれらの活用に関する基礎的な技術を身に付け、園芸作物や社会動物を活用した交流活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル ・実習への取組状況 等
知識・理解	園芸作物や社会動物の育成及びこれらの活用に関する基礎的な知識を身に付け、生物活用の意義や役割と生活の質の向上の重要性を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ファイル ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	生物活用の意義と役割 野菜・ハーブの栽培と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物や社会動物の活用が生活の質の向上につながることを理解する。 ・園芸作物や社会動物の活用の重要性について理解する。 ・野菜・ハーブの種類や特性について理解する。 ・野菜・ハーブの栽培や活用についての基礎的な知識を学習し、各々の特徴やその活用方法について理解する。 ・野菜・ハーブの特性やこれらの加工・利用を理解し、これらの知識を活用して、適切な活用方法を理解する。 ・野菜・ハーブの栽培やその活用に関する実験や実習を通して、これらの適切な栽培や活用について理解する。
2 学 期	植物・園芸と人間生活 園芸療法 動物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な植物が持つ特性及び園芸がもたらす効用について理解する。 ・園芸療法の対象者とその実際や効果等を学習し、これらの知識を活用して生活の質の向上に関する具体的な課題を考える。 ・動物との暮らしや動物の活用の関係について理解する。身近な動物が持つ特性及び動物飼育がもたらす効用について理解する。
3 学 期	動物介在療法	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や海外の動物介在療法の現状や役割について理解する。 ・動物介在療法の対象者とその実際や効果等を学習し、これらの知識を活用して生活の質の向上に関する具体的な課題について理解する。

その他	座学と実験・実習を行う実技的な科目である。
-----	-----------------------